

# 福井市財政健全化専門部会 資料

[計画期間 平成30年度～令和5年度]

資料 1

## 1 決算概要

令和元年度普通会計決算状況

(千円)	R1	H30	R1-H30 増減	H29(基準)
歳入	103,081,314	102,009,634	1,071,680	109,538,693
歳出	100,612,814	99,933,149	679,665	108,793,188
形式収支	2,468,500	2,076,485	392,015	745,505
繰越財源	112,990	251,173	△ 138,183	885,052
実質収支	2,355,510	1,825,312	530,198	△ 139,547

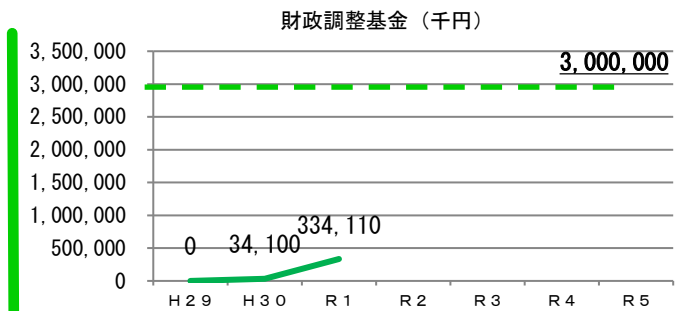
## 2 性質別決算

歳入(千円)	R1	H30	R1-H30 増減	H29(基準)
市税	45,284,461	44,670,511	613,950	44,465,038
地方交付税	10,429,753	9,824,599	605,154	10,904,041
交付金等	7,212,721	7,048,945	163,776	6,883,642
分担金・負担金	196,404	294,106	△ 97,702	444,718
使用料・手数料	1,471,640	1,562,524	△ 90,884	1,546,172
国庫支出金	15,417,206	15,240,738	176,468	16,358,952
県支出金	8,913,506	8,713,997	199,509	8,967,454
財産収入	119,833	213,059	△ 93,226	226,805
寄附金	342,926	187,837	155,089	62,692
繰入金	47,274	1,126,496	△ 1,079,222	3,562,048
繰越金	2,076,485	745,505	1,330,980	1,310,055
諸収入	3,426,252	3,100,362	325,890	3,239,243
市債	8,142,853	9,280,955	△ 1,138,102	11,567,833
合計	103,081,314	102,009,634	1,071,680	109,538,693

歳出(千円)	R1	H30	R1-H30 増減	H29(基準)
人件費	17,261,916	17,127,078	134,838	18,012,615
扶助費	27,042,985	25,357,473	1,685,512	25,448,892
公債費	13,370,640	12,873,133	497,507	12,924,530
物件費	14,118,388	13,285,417	832,971	13,503,300
維持補修費	724,231	852,019	△ 127,788	4,896,417
補助費等	8,267,914	9,274,737	△ 1,006,823	8,792,351
繰出金	9,648,179	9,537,027	111,152	9,970,275
投資及び出資金	130,364	130,136	228	128,968
貸付金	1,333,359	1,408,896	△ 75,537	1,593,905
積立金	1,115,486	47,678	1,067,808	7,303
投資的経費				
普通建設事業費	7,547,733	9,842,840	△ 2,295,107	13,330,187
災害復旧費	51,619	196,715	△ 145,096	184,445
合計	100,612,814	99,933,149	679,665	108,793,188

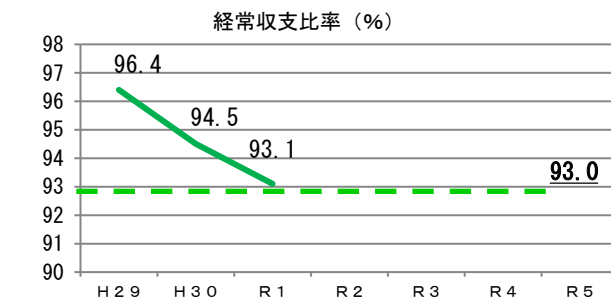
## 3 財政指数

①財政調整基金  
目標 30億円以上



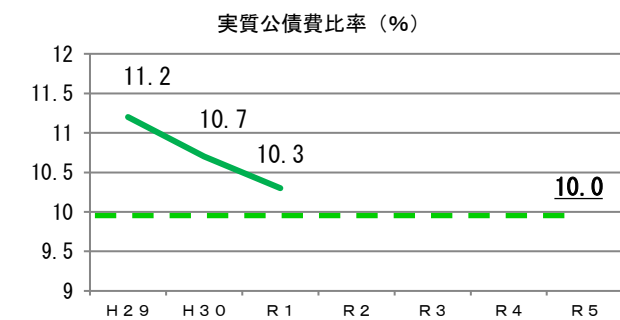
◆H30 の決算剰余金の一部(3億円)を積み立てた。  
◆R2 も決算剰余金の一部を積み立て見込。

②経常収支比率  
目標 93%以下



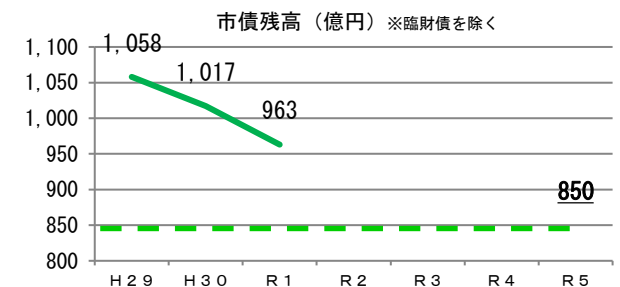
◆事業費に充当する一般財源の縮減などにより1.4%減少した。

③実質公債費比率  
目標 10%以下



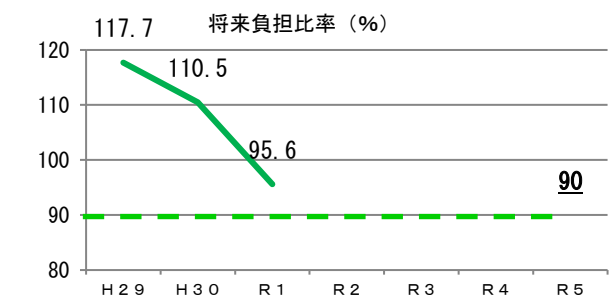
◆標準財政規模の増加などにより0.4%減少した。

④市債残高  
目標 850億円以下



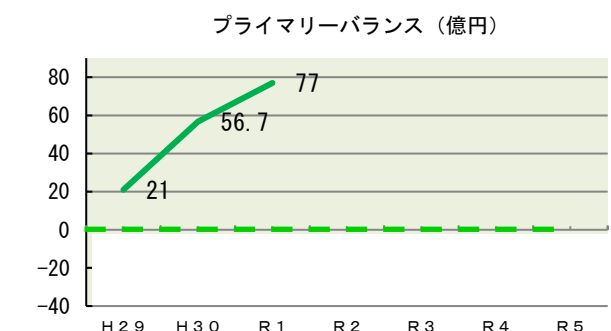
◆市債借入の抑制により約50億円減少した。  
◆今後も、借入の抑制による減少を見込む。

⑤将来負担比率  
目標 90%以下



◆市債残高の減少などにより14.9%減少した。  
◆今後も市債残高の減少などによる減を見込む。

⑥プライマリーバランス  
目標 黒字



◆市債借入の抑制により黒字を維持した。  
◆今後も市債借入を抑制することで黒字を維持していく。

## 4 取組成果

## ①事業費の縮減

取組内容	○事業費の見直し ・H30に先送りした大型公共事業8件(文化会館整備事業、水道記念館保全活用事業、三秀園跡界限再整備事業、みらくる亭大規模改修事業、消防庁舎建設事業、新給食センター整備事業、図書館リニューアル事業、フットボールセンター整備事業)のうち、引き続き4件(文化会館、水道記念館、三秀園跡、みらくる亭)について先送り ・H22～H31(第1期、2期)運用の福井市総合行政システム運用経費と比較し、R2からの第3期運用経費は約25%減 第1、2期平均経費10.5億→第3期平均約7.9億
	○繰出金の見直し ・下水道事業繰出金、国民健康保険特別会計繰出金(赤字解消分)をH30に引き続き減額(下水189,363千円、国保50,000千円)

## ②総人件費の縮減

取組内容	○職員数の適正化 ・職員数計画値2,325人→実配置職員数2,312人(R2.4.1時点)															
	○級別職員数の適正化 ・昇任に係る必要在位年数の見直し(H31.4昇任時から) 4級(副主幹)4年→5年 5級(主幹)5年→4年 ・昇任に係る試験運用の見直し(R2.4昇任時から) 厳しい選抜試験 6級昇任時→5級昇任時															
	○等級別基準職務表の適正化 【8級、6級職員数の推移】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>(H30との差)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8級職員数</td> <td>49人</td> <td>→ 36人</td> <td>→ 26人</td> <td>(▲23人)</td> </tr> <tr> <td>6級職員数</td> <td>306人</td> <td>→ 266人</td> <td>→ 221人</td> <td>(▲85人)</td> </tr> </tbody> </table> H30年度比、8級職員は23人の減、6級職員は85人の減。		H30	H31	R2	(H30との差)	8級職員数	49人	→ 36人	→ 26人	(▲23人)	6級職員数	306人	→ 266人	→ 221人	(▲85人)
		H30	H31	R2	(H30との差)											
8級職員数	49人	→ 36人	→ 26人	(▲23人)												
6級職員数	306人	→ 266人	→ 221人	(▲85人)												
○働き方改革の取組推進 ・時間外勤務の総時間数 H29 369,511→ H30 294,176→ R1 271,890(H30比▲7.6%)																

## ③施設管理経費の縮減

取組内容	○施設マネジメントアクションプランの策定 ・施設マネジメントアクションプラン第1期の公表(R2/3) ・地域活性化に向けた普通財産貸付にかかる減免制度の新設(R2/4)
	○施設再編を進めるための施設マネジメント ・商工労働部の「地域交流プラザ」への移転(R1/10) ・「国民宿舎鷹巣荘」の民営化(R2/4) 他

## ③(続き)

## ④投資的経費の抑制

## ⑤公債費の縮減

## ⑥歳入の確保

取組内容	○ランニングコストの削減 ・市庁舎の契約電力見直し(R1年10月まで670kw→現行640kw)
------	---

取組内容	○大型公共事業終了による減 ・福井駅付近連続立体交差関連事業(H30 4.5億⇒R1 1.6億) ・中央公園周辺再整備事業(H30 2.2億⇒R1 0) ・東安居団地整備事業(E棟建築工事)(H30 4.9億⇒R1 2.0億) ほか、H29大雪による繰越事業の終了による減 等 ○大型公共事業、補助事業・単独事業 ・引き続き大型公共事業の先送りを実施
------	---

取組内容	○借入抑制【目標値：新規発行市債 50億円以下】 ・R1実績額 38億1,667万5千円 (当初予算額48億3,157万5千円)
------	--

取組内容	○収納率の向上 ・R1の現年度収納率99.20%(目標値99.2%)(H30 99.16%) 口座振替の勧奨や特別徴収推進等により収納率が向上
	○クラウドファンディング ・R1実績合計 2,199千円(H30 2,583千円) (足羽山公園遊園地動物購入、足羽山公園アジサイ植樹、ひとり親家庭親子記念写真等 件数R1 4件 H30 3件)
	○ふるさと納税の推進 R1の実績 317,282千円(計画目標150,000千円) (H30 118,235千円)
	○財産収入の確保 ・民間提案制度の実施 ・庁舎地下食堂スペースの貸付(1,983千円/年間) 庁舎内広告モニター付き授乳室スペースの貸付(7千円/年間)

取組内容	○広告料収入、ネーミングライツ等 ・R1 広告事業収入額:13,167千円 主な広告事業:セーレンプラネット、HP バナー、電子掲示板等 ・新たな広告事業の実施(13,167千円の内数) 公用車広告掲載事業:120千円 広告付き窓口受付システム設置事業:300千円
------	---

## 5 新型コロナウイルス感染症の財政再建計画に及ぼす影響

令和2年度一般会計（款別）歳入歳出の現状（9月補正までの累計）（単位：千円）

款別	当初予算歳入	現計予算歳入	款別	当初予算歳出	現計予算歳出
市税	44,528,000	44,528,000	議会費	691,972	691,972
地方譲与税	1,016,000	1,016,000	総務費	<b>12,648,689</b>	<b>39,129,206</b>
利子割交付金等	888,000	888,000	民生費	43,368,032	44,898,557
地方消費税交付金	5,860,000	5,860,000	衛生費	6,048,058	6,187,634
地方交付税	10,356,000	10,356,000	労働費	445,934	445,934
分担金及び負担金	220,516	220,516	農林水産業費	3,385,863	3,416,340
使用料及び手数料	1,292,104	1,292,104	商工費	<b>2,733,477</b>	<b>3,753,723</b>
国庫支出金	<b>18,167,976</b>	<b>47,118,978</b>	土木費	15,868,872	15,960,172
県支出金	9,782,178	10,128,279	消防費	3,687,758	3,687,758
財産収入	1,238,146	1,238,146	教育費	9,481,366	10,207,717
寄附金	425,090	425,090	災害復旧費	36,950	36,950
繰入金	4,512,033	4,895,345	公債費	16,311,029	16,311,029
繰越金	<b>100,000</b>	<b>521,041</b>	予備費	<b>100,000</b>	<b>218,164</b>
諸収入	3,670,357	3,670,357	合計	114,808,000	144,945,156
市債	12,751,600	12,787,300			
合計	114,808,000	144,945,156			

※当初予算比で増加率が10%以上の款にアンダーバー及び太字処理をしている。

⇒一般財源としては4.2億円の増（昨年9月補正時+3.5億円）

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応に関する予算総額（単位：千円）

補正時期	補正予算額	うち一般財源
3月補正予算	36,000	36,000
4月専決予算	404,192	0
5月専決予算(その1)(その2)	27,393,544	138,755
6月補正予算(その1)(その2)、6月専決予算	933,500	149,859
7月専決予算	303,000	0
9月補正予算(その1)(その2)	1,076,909	164,757
合計(9月補正成立分まで。中止・縮減事業を含めない。)	30,147,145	489,371

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応に関する大規模補正事業一覧（単位：千円）

事業名	補正予算額	うち一般財源	補正時期
子育て世帯応援給付金事業	383,312	0	4月専決
特別定額給付金事業	26,438,800	0	5月専決(その1)
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	350,171	0	5月専決(その2)
新型コロナウイルス感染症対策事業	108,576	28,440	5月専決(その2)
がんばれ福井応援券事業	311,500	75,500	5月専決(その2)
制度融資利子補給金	308,480	0	6月補正
予備費	118,164	118,164	6月補正

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	233,293	0	6月専決
がんばれ福井応援券事業(事業費増額分)	210,000	0	7月専決
地域公共交通緊急支援事業	172,476	51,371	9月補正
福井県休業等要請協力金負担金	214,850	0	9月補正
指定管理者休業等協力支援金	101,295	0	9月補正
公立学校情報機器購入事業	137,025	0	9月補正

※補正額1億円以上の事業を抜粋

中止・縮減事業のうち一般財源の多い事業抜粋（上位10事業）（単位：千円）

事業名	R2 予算額	減額事業費	うち一般財源
議会経費及び特別職期末手当の削減	(※) 73,883	▲23,428	▲23,428
フットボールセンター整備事業	35,000	▲35,000	▲16,300
学校プール開放事業	12,148	▲12,148	▲12,148
東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施事業	28,768	▲20,331	▲10,831
小・中学校体育大会等開催負担金	10,920	▲10,000	▲10,000
学校行事推進事業(小中)	8,755	▲8,630	▲8,630
施設マネジメント推進事業	25,682	▲8,430	▲8,280
地域の未来づくり推進事業	70,863	▲7,425	▲7,368
農林水産物「ふくいブランド」構築事業	14,300	▲6,601	▲6,601
中心拠点の賑わい創出事業	4,480	▲4,439	▲4,439
中止・縮減事業 合計		▲323,599	▲161,642

※予算額は議会経費のみ。また、これら事業の他にも事業費の凍結を実施している。

令和2年度の財政再建計画に基づく取組への影響

- ①事業費の縮減：今の時点では影響額を計ることはできない。
- ②総人件費の縮減：今の時点では影響額を計ることはできない。
- ③施設管理経費の縮減：今の時点では影響額を計ることはできない。
- ④投資的経費の抑制：今の時点では影響額を計ることはできない。
- ⑤公債費の縮減：コロナ対応はソフト事業が殆どであり公債費への影響は④への影響の更に一部となることからほぼ影響はないものと思われる。
- ⑥歳入の確保：歳入の確保には大きな影響がある。⇒影響額は、第2回部会において報告予定。  
・法人市民税 8月末現在で前年度同月末と比較し約1.2億円の調定減(増減率▲5.2%)  
・地方消費税交付金 県が9月補正で減額補正。福井市分として推計で約10億円減。

11月に実施予定の決算見込において影響を計り、歳出について厳格な執行管理を行っていく。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた財政再建計画の修正

→今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ検討していく。